

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 豊島屋(仮称)菓子工房建設プロジェクト	階数	地上3F
建設地	鎌倉市岩瀬一丁目1番151	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所集合住宅、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2022年9月28日
敷地面積	5,198 m <sup>2</sup>	作成者	鹿島建設株式会社横浜一級建築士事務所
建築面積	1,876 m <sup>2</sup>	確認日	2022年9月28日
延床面積	4,672 m <sup>2</sup>	確認者	鹿島建設株式会社横浜一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 81% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 81%

④ 上記+: 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	2.6
温熱環境	2.2
光・視環境	4.2
空気質環境	3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.0
耐用性	3.0
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物外皮の	4.8
自然エネ	2.8
設備システ	4.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.7
地域環境	3.3
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 鎌倉市内に建設される工場、事務所、寄宿舎の複合用途の施設である。		その他
Q1 室内環境 ・適切な照度の確保、細かな点滅区分計画により、室内の明るさや照明の制御性に配慮している。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・高い階高の確保により、対応性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。
LR1 エネルギー ・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。 ・効率のよい設備機器を導入し、建物の熱負荷を最小限に抑えている。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・ノンフロンの断熱材を使用している。	LR3 敷地外環境 ・低NOX機器を採用して、大気汚染防止に配慮している。 ・渋滞緩和に配慮した駐車場計画としている。 ・照明付きの屋外サインの設置を避け、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される